

## ○ 事業内容

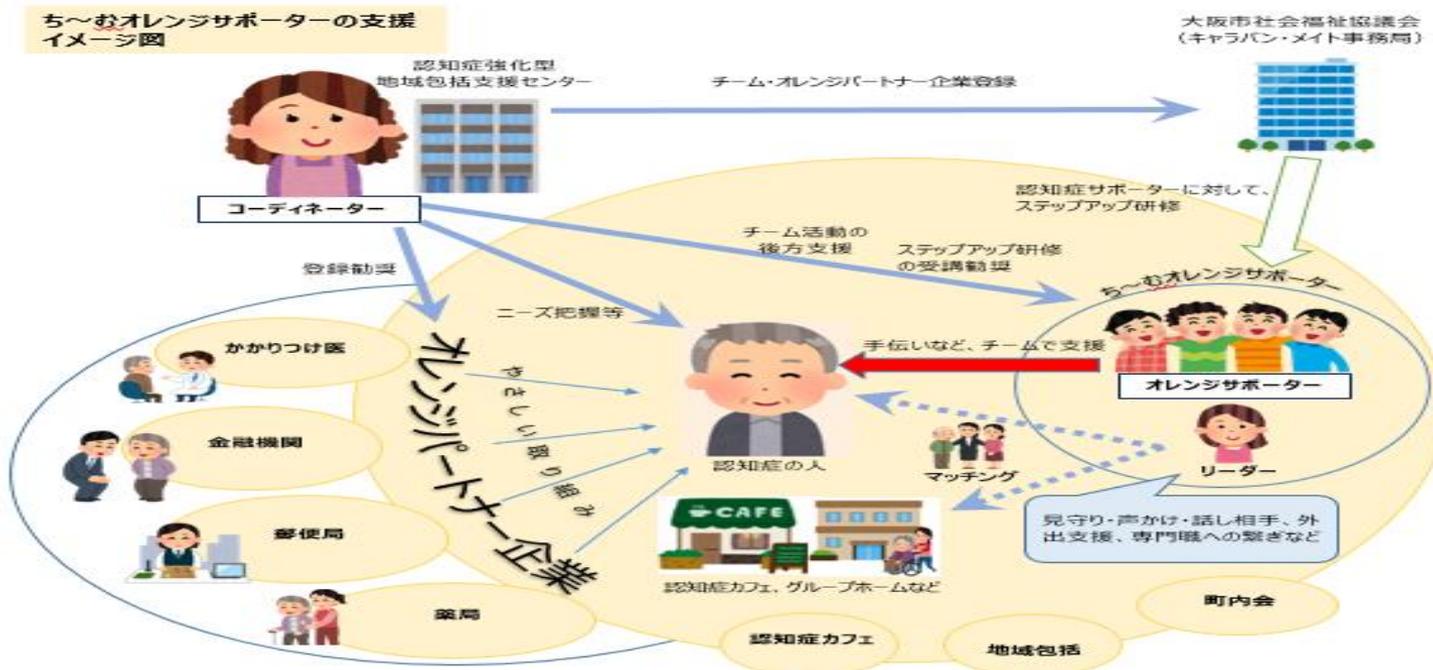
素案 掲載箇所：Ⅱ 重点的な課題と取組み / 第7章－2 認知症施策の推進 P153  
Ⅲ 具体的施策 / 第8章－2 認知症施策の推進 P212

### 「ち～むオレンジサポーター」を構築し、認知症サポーターのさらなる活躍の場を整備

- 認知症サポーター等が支援チームを作り、認知症の人やその家族への支援を行う「ち～むオレンジサポーター」の仕組みを構築し、全区の認知症強化型地域包括支援センターにおいて、認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりに取り組みます。

### 「オレンジパートナー」制度を創設

- 認知症の人にやさしい取組みを実施する企業・団体等をオレンジパートナーの登録企業・団体として発信していき、その輪が広がることにより、認知症の人が安心して生活できるまちづくりを目指します。



## ○ 進捗状況

- ・ 令和2年4月 認知症地域支援コーディネーターを配置
- ・ 令和2年6月 認知症地域支援コーディネーターを対象に事業検討会を開催
- ・ 令和2年11月 オレンジ・チューター養成研修（全国キャラバン・メイト連絡協議会が実施）
- ・ 令和3年2月 認知症地域支援コーディネーターを対象に事業検討会を開催
- ・ 令和3年3月 第1回ステップアップ研修（オンライン）を開催

## 《コーディネーターの具体的活動内容》

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の状況把握及び事業の周知・啓発が困難な状況となり、府によるコーディネーター研修の開催も遅れている。
- ・ 4月からは、主にオレンジパートナー企業への登録を勧奨している。  
（主な取組み）郵便局：すべての社員が認知症サポーター養成講座を受講し、認知症の方が来局された際の正しい接し方を学び、包括支援センターと連携し情報の共有を図っている。  
薬 局：認知症カフェの開催や地域の関係機関への公開学習会の開催
- ・ 区キャラバンメイト連絡会や区認知症施策推進会議、企業などへ事業の広報・周知を行っている。
- ・ チーム活動には至っていないが、認知症サポーターがチームとなって外出支援や買い物支援を検討している例がある。

# オレンジサポーター地域活動促進事業

(令和2年度～新規事業)

## ○ 令和3年度からの主な活動

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ステップアップ研修等の開催が遅れていることから、オレンジサポーターの養成が行えず、チームの登録は進んでいない。

## ● ステップアップ研修の開催

### <主な研修内容>

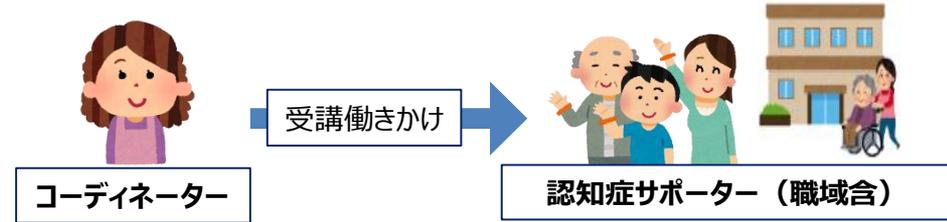
- ・ 大阪市認知症施策の概要と事業内容
- ・ 認知症の症状(中核・周辺・行動心理)
- ・ 場面別症状別対応
- ・ 本人や家族の思いの理解
- ・ 意思決定支援ガイドライン(ポイントとケーススタディ)
- ・ 活動事例紹介
- ・ 地域実践のグループワーク(例「サポートを実現するには」)



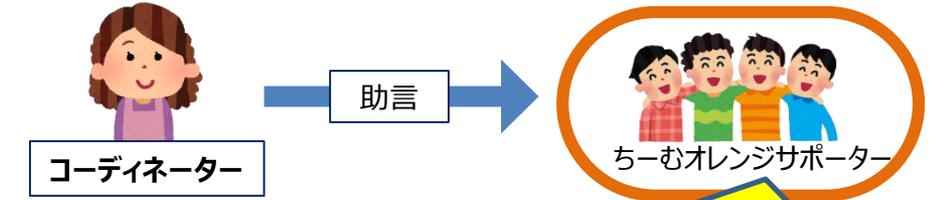
### <実施方法>

新型コロナウイルス感染症の感染リスクを回避することを目的として、集合研修と同様、受講者同士がグループ討議を行ったり、わからない点を質問できたりと、双方向の学びが可能な体制を整えた上で、オンラインにより実施する。

## ● ステップアップ研修の受講勧奨



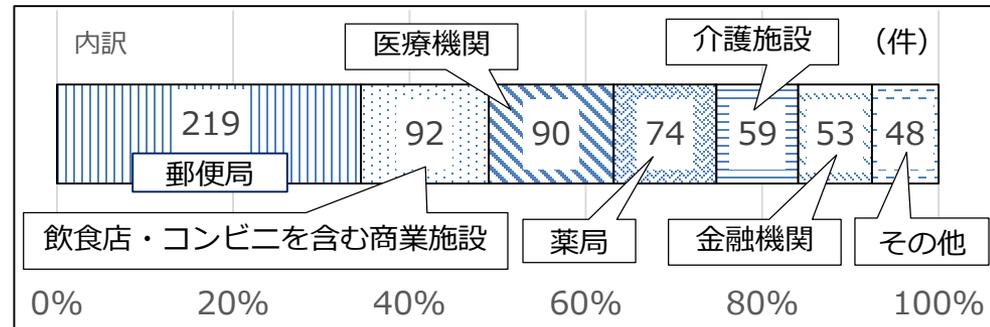
## ● チームオレンジサポーターの立ち上げ支援



リーダーが中心となって、複数人で支援を行うことを想定。  
【具体例】  
見守り・声かけ、話し相手、外出支援、専門職への繋ぎなど

## ● オレンジパートナー企業の広報・周知、登録勧奨

登録件数：100件（令和2年4月） → **635件**（令和2年12月）



# オレンジサポーター地域活動促進事業

(令和2年度～新規事業)

## ○ 目標及び各種研修等の内容

素案 掲載箇所

IV - 第9章 施設等の整備目標数・サービス目標量及び自立支援・重度化防止等に係る取組みと目標 P277

### 第8期の目標

### 取組内容

「ちーむオレンジサポーター」数

目標値：2023（令和5）年度末までに300チーム

認知症サポーター等が支援チームを作り、認知症の人やその家族への支援を行う「ちーむオレンジサポーター」の仕組みを構築するとともに、認知症の人にやさしい取組みを行うオレンジパートナー企業の登録を増やしていくことにより、認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりに取組みます。

### 《 参考 》

研修名	目的	主な研修内容
認知症サポーター養成講座	認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を都道府県・市町村等自治体で養成し、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに取り組むことを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"><li>・認知症とは</li><li>・治療について</li><li>・予防について</li><li>・本人・家族の気持ちを知らう</li><li>・認知症の人への対応</li><li>・相談機関</li></ul>
ステップアップ研修	認知症サポーターがチームオレンジのメンバーとなるには、ステップアップ研修の受講が必須の条件。 認知症サポーター養成講座で学んだことを土台に、実践の場で必要となる認知症に関する知識、身近に交流し必要に応じて手助けをするための対応スキル等を習得することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"><li>・認知症の症状（中核・周辺・行動心理）</li><li>・場面別症状別対応</li><li>・本人や家族の思いの理解</li><li>・意思決定支援ガイドライン</li><li>・活動事例紹介</li><li>・地域実践のグループワーク など</li></ul>
事業検討会 (認知症地域支援コーディネーター連絡会)	事業の進捗状況や各認知症地域支援コーディネーター活動状況について情報共有を行い、当該事業を推進していくために実施することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業の進捗状況</li><li>・各認知症地域支援コーディネーターからの活動報告</li><li>・認知症地域支援コーディネーター業務に係る講義等</li></ul>
コーディネーター研修	チームオレンジの整備・活動を推進するために市町村が配置するコーディネーターやチームオレンジのメンバー等に対して、必要な知識や技術を習得することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"><li>・実施主体は都道府県であり、内容については大阪府が検討中</li></ul>